

事務事業名		漁業集落排水施設維持管理事業			☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目		
	施策名	05 環境の保全と共生							
	基本事業名	02 港湾・河川環境の保全			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		会計 17 款 01 項 01 目 02 事業		
根拠法令		水質汚濁防止法、浄化槽法							
所属	部課名	都市整備部下水道事業所							
	係名	業務係	電話内線	0192-27-3111 201					
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市内5箇所の終末処理場の維持管理を民間業者に見積を提出させ、低廉な業者に業務委託している事業。 ・主な業務は、年度末に見積書を業者より徴し、年度当初もっとも低廉な業者に事業を発注、終末処理場の維持管理(委託)、委託料の支払いを行う。 ・事業費は、業者への管理委託料として支出される。					全体計画 (期間限定複数年度のみ)				
					総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計 (A)	0
					人件費	正規職員従事人数			
						延べ業務時間			
						人件費計 (B)	0		
						トータルコスト(A) + (B)	0		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 見積徴取件数	件
見積の徴取、契約、支払い		イ 汚泥抜き取り量	m3
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様。			
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
漁業集落排水の終末処理施設		名称	単位
		カ 施設数	箇所
		キ	
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
施設を適正に維持管理する。		名称	単位
		サ 故障・事故件数	件
		シ 故障・事故による停止日数	日
		ス 水質検査不適合件数	件
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円			10,389	5,363	12,814	13,408
	一般財源	千円	8,333	8,885	1,105	5,231	0	0
	事業費計 (A)	千円	8,333	8,885	11,494	10,594	12,814	13,408
	人件費	人	2	2	2	2	2	2
	正規職員従事人数	時間	180	180	180	180	180	180
	延べ業務時間	千円	720	720	720	720	720	720
	人件費計 (B)	千円	9,053	9,605	12,214	11,314	13,534	14,128
	トータルコスト(A) + (B)	千円						
活動指標	ア	件	3	3	3	3	2	3
	イ	m3	217	91.8	280.8	230.4	250.0	149.4
	ウ							
対象指標	カ	箇所	4	5	5	5	5	5
	キ							
	ク							
成果指標	サ	件	1	2	0	0	0	0
	シ	日	1	1	0	0	0	0
	ス	件	0	0	0	0	0	0

事務事業ID	0706	事務事業名	漁業集落排水施設維持管理事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

大船渡市の基幹産業である水産業を良好な水質で行なうため、また、トイレの水洗化などによって衛生的な環境を作り、地域住民の保健福祉に寄与する。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

漁業集落排水施設の増加、利用者の増加、対象エリアの拡大

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

住民から、住環境と生活の糧となる周辺海域の水質の向上に繋がっているとの声がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 漁業集落排水施設を維持管理することで、公共水域の水質の保全が図られる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 法律等によって定められている。「大船渡市漁業集落排水施設設置管理に関する条例」等
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 漁業集落排水施設の維持管理事業において、維持管理の業務を委託しており、放流する水質面、衛生面でも良好な状態が保たれており、現状のままでよい。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 意図カバー率は全施設を対象として市内3業者への見積により達成している。意図と達成率向上については、放流水の透視度、BODともに良好であるので満たしている。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 同地域には、まだ多数の人間が居住しており、漁業集落排水施設の維持管理がなされなくなると、施設の正常な稼働が見込めなくなり、結果汚水などの垂れ流しが発生し、公共用水域の水質の保全がなされなくなる可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 施設の規模によって施設管理の資格の有無の違いや地元業者の活用等で統廃合・連携等はお課題がある。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 広報紙等で汚水の正しい流し方等を周知することにより、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図る。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] すでに、民間業者に保守管理を委託しており、契約時の事務や落雷などの事故の場合を除き、施設管理には携わっていない。管理者として月1回程度の点検を行っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 加入負担金、使用料の徴収(水道料金に含まれる形での徴収)をしており、負担は適正である。

事務事業ID	0706	事務事業名	漁業集落排水施設維持管理事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 広報紙等で汚水の正しい流し方等を周知し、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図ったが、今後も継続の必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 広報紙等で汚水の正しい流し方等を周知することにより、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 下水道事業所長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 漁業集落排水処理施設を安定した維持管理するためには、利用者の適切な汚水排水をするように認識させて、故障等を未然に防ぐ必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 利用者に対して、汚水の適切な排水をさせるために、市広報、パンフレット等で周知し、施設の故障等を未然に防ぎ経費の削減を図る。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>●</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
